

おうちの人といっしょによみましょう。

すまいる 特別号 がっこうほけんいいんかい 学校保健委員会だより

令和6年度

砺波市立砺波南部小学校

11月28日（木）に、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方、PTA役員の方を交えて学校保健委員会を開催しました。今年度の保健指導や体力づくり、給食指導の取組の経過、児童の実態等を報告し、家庭とともに連携して取り組んでいくことを話し合いました。

★ 今年度の重点 ★

【保健指導】

- ・ 自当てをもって運動に取り組む子供を育てる。
- ・ 歯についてよく知り、歯を大切にできるようにする。



【体力づくり】

- ・ 自当てをもって運動に取り組むことができる子供を育成する。
- ・ 柔軟性と全身持久力の向上を目指して、様々な運動に親しむ子供を育成する。

【給食指導】

- ・ 食事のマナーを身に付け、自分に合った量を考えて食べることができる子供を育てる。

【取組の様子】 学級での指導や児童委員会による活動



廊下歩行を促す看板づくり



歯科衛生士による歯みがき教室



ストレッチダンスをする児童



グラウンドを走る体力づくり週間



豆つかみに挑戦する児童



栄養教諭による食に関する指導

★ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生方のお話 ★

＜学校内科医 柳澤先生＞

- ・感染症の予防は、うがい・手洗い・マスクの励行の他、タオルを共有しないことなどが基本である。
- ・現在、手足口病はおさまってきており、マイコプラズマ感染症も富山県は他県に比べると多くはない。ウイルス性胃腸炎は例年並みであり、インフルエンザについてはまだ出ていないため、ワクチン接種を推奨する。
- ・児童がタブレットばかり利用するのではなく、本にも親しめるよう家庭でも読書のよさを勧めてほしい。

＜学校眼科医 豊田先生＞

- ・黒板の文字が見えるかどうかは、座席によっても変わる。見えにくい場合は、前の席になるよう配慮することも必要である。
- ・近視が増加しているため、視力検査連絡票をもらったら、早めに眼科受診をしてほしい。
- ・姿勢を正しく保持することは大切なので、学校でも家庭でも声かけをしてほしい。

＜学校歯科医 奥田先生＞

- ・最近、自然に口が開いたままになっている子供が増えている。原因として、口周囲の筋力の低下等があるが、感染症になりやすい、口臭やむし歯になりやすい、歯並びが悪くなるといった悪影響がある。鼻閉との関連もあるが、口を閉じるよう意識させてほしい。
- ・食事をする時は、口を閉じて食べることが大切である。
- ・食べ物をよく噛む大切さについて家庭でも確認してほしい。

＜学校耳鼻科医 河合先生＞

- ・アレルギー性鼻炎の罹患者が低年齢化している。有病率も高くなっており、軽症者はもつといると考えられる。鼻水や鼻閉がある時は、耳鼻科受診をしてほしい。
- ・花粉症やダニアレルギーの子供も増えており、完治を目指した舌下免疫療法をしている子供も増えている。
- ・コロナ渦を経て、免疫力が低下している現在、気を緩めずに大人が意識することが大切である。

＜学校薬剤師 舘先生＞

- ・家庭でタブレットを使用する時は、映り込みを避けるよう座る場所を変えるなどの工夫が必要である。
- ・12月に6年生に薬物乱用防止教室を実施する。最近では、市販薬の過剰服用が問題となっているため、子供たちに理解を促していきたいと考えている。

